

第17回「I氏賞」受賞者決定に係る選考委員長のコメント

【全体講評】

いずれの作品もクオリティが高く、幅広いジャンルでの多様な試みが見られるため、甲乙つけがたく、選考が難しかった。それぞれに培ってきた表現技法と造形感覚のレベルの高さを感じさせる作品が出揃い、受賞者以外の作品も非常に魅力的であった。今後も、展示空間や作品の提示方法に配慮した、新たな造形表現のより一層の展開を望みたい。

大 賞

沖田 愛有美（平面：絵画）

【コメント】

漆という素材がもつ特有の感触を、絵画表現として成熟させている。野性味のある力強さとともに、生命の繊細なうごめきをも感じさせ、見るものに訴える力をもつ。丹念な工芸技法とメッセージ性を備えた絵画表現のさらなる発展が期待できる。

奨励賞

上田 尚宏（平面：絵画）

【コメント】

コンセプトの明確さと抽象絵画としての美しさのバランスのとれた、完成度の高い作品である。豊富な経験に基づく確かな表現手法のますますの展開に期待する。

山部 杏奈（平面：絵画）

【コメント】

まるでそこに窓があるかのように、自然な奥行きや空気感をもつ静謐な絵画表現が印象深い。古典的な構図による清新な表現と素材への探求を評価したい。